



高梁市議会議長
石田 芳生

議事や文化が伝承されていくことを願っています。

令和5年度には、新消防庁舎や高梁認定こども園などの大型事業が着工します。さらには、今後市有施設の大規模改修も検

本心が、明るく展望の開ける年となることを祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。新型コロナウイルス感染症は3年にわたり社会経済活動に大きな影響を及ぼしておりますが、この間、医療や感染拡大防止にご尽力いただいている皆さまに、まずもって心から感謝申し上げます。こうした皆さまのご協力により、昨年は徐々に各種イベントなどが再開されました。本年は、私たちの身近な地域でもかつての活動が再開され、行事や文化が伝承されていくことを願っています。

現在、高梁市政は多様な課題を抱えています。言うまでもなく人口減少や少子高齢化への対応、地域活力の維持は最重要テーマであります。これらは市政全ての施策に関わっており、議会としても政策立案能力を高め、善処策を提案していきたいと考えています。

近年の異常気象による自然災害の頻発に対しても、平成30年7月豪雨災害の教訓を忘れることなく、防災対策への取り組みについて継続的に注視してまいります。

令和5年 年頭のごあいさつ



高梁市長
近藤 隆則

令和5年の新春を迎え謹んでご挨拶申し上げます。昨年、年明けからの第6波から始まり、夏には第7波に翻弄されるなど、新型コロナウイルス感染症への対応に注力した一年となりました。厳しい状況下でも最前線でご尽力いただいている医療従事者の皆さまをはじめ、長期にわたり感染拡大防止にご協力いただいている市民の皆さま、市内事業者の皆さまに深く感謝申し上げます。

1プンし、3万人を超える方に来館いただきました。夏には備中たかはし松山踊りをはじめ各地域での伝統行事、またヒルクライムチャレンジシリーズ2022吹屋ふるさと村大会など、皆さまのご協力とアイデアにより、数年振りに各種イベントが再開されるなど、長引くコロナ禍でも少しずつ市内が熱気に包まれ、以前の生活を取り戻し始めた一年だったと思います。

展開してまいります。2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」により、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入推進などカーボンニュートラルを目指すとともに、SDGsの達成に向けた取り組みを進めます。本年も市民の皆さまが健康で生きがいを感じ、地域への愛着と誇りをもって、心豊かで幸せに暮らせるまちづくりを進めてまいります。

写真：弥高山からの初日の出(1月1日)